

平成 28 年度 学校経営計画（方針）

練馬区立開進第二小学校

校長 長田 信彦

子供たちが登校したくなる、魅力に溢れる開二小をつくろう！

1 教育目標

児童、学校及び地域社会の実態に基づき、人間尊重と社会貢献の精神を培い、心身共に健康な児童を育成するため次の目標を設定する。

- 意欲的に学ぶ子
- 広く思いやる子（本年度重点目標）
- 進んで体を鍛える子

全ての教育活動の基底には、基本的人権の保障が貫かれていなければならない。その上で、学校教育が一人一人の児童に人権尊重の精神が涵養される場として成立する。また、確かな学力の定着や向上、健康の保持増進、体力の向上など学校に与えられた使命も、全てこの精神の上に立って実現できるものである。この環境の中にあってはじめて、児童は、生涯にわたり主体的に学び続けようとする意欲と態度を習得できるものである。さらに、本校においてこれらの児童の望ましい姿を追求していくために、家庭や地域との結びつきを尚一層深化させて行く必要がある。

2 本年度の重点

◎ 人権教育と豊かな心の育成

- ・ 人間尊重の理念を正しく理解させ、その精神を心に育てる
- ・ 思いやりの心をはぐくむ
- ・ 社会生活の基本的なルールを身につける
- ・ 進んで社会に貢献していこうとする精神をはぐくむ
- ・ いじめ、体罰の防止及び、規範意識の涵養

○ 進んで自分の思いや考えを伝え合う子供の育成

- ・ 自分の考えをもち、心豊かに生活していこうとする心を育てる
- ・ 相手の気持ちや考えを尊重し、互いに協調し合いながら生活していく姿勢をはぐくむ
- ・ よりよい言語活動の中で、伝え合う喜びを学び、自己実現できる教育環境の充実

○ 生涯にわたり、主体的に学び続けることのできる子供の育成

- ・ 確かな学力の定着・向上を図る
- ・ 健康の保持増進・体力の向上をより一層図る
- ・ 個に応じた指導の充実を図る

○ 学校・家庭・地域社会が深く連携を図る教育活動の実現

- ・ 地域社会、保護者の願いや思いを教育活動に生かす
- ・ 創意工夫を凝らし、子供たちが喜びをもって学べる学校教育の充実

3 学校経営方針

私たちは、「この開進第二小学校で学び生活してよかった。」「友達とふれ合えて嬉しい。」と、すべての児童が思い感じることが出来るように子供たちを育てていかなければならない。そのために、様々な学校行事をはじめクラブ活動や児童会活動、学級会活動や係活動、集会活動などの特別活動を発展させると共に、日常の授業の充実に努め、子供たちのよりよい育ちを求めていく一丸となったプロ（職人として）の教育職員集団（チーム）に自分たち自身が高まる必要がある。

本年度は8年間続いてきた学校2学期制も終わり、3学期制への移行の年である。学校土曜日授業（振替休業日のない）も年間7回実施される。子供たちの休みの過ごし方も大きく変化している。地域の教育力の活用に加えて、夏季水泳指導、学力補充教室、サマースクールの充実、休日の過ごし方、家庭学習の在り方等様々な創意工夫を凝らしていかなければならない。教職員の多様で豊かで柔軟な発想に期待するところが多い。

なお、本学年度重点目標は、子供たち相互の豊かな関わりを求めて、「広く思いやる子」とする。これは、各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間・外国語活動の指導にとどまるものではなく、全教育活動を通して育てていく子供たちの姿である。このことは家庭教育や地域の教育力の活用など、子供たちの生活そのものと密接に関係を図りながら地域で育つ子供の姿を追い求めるものでもある。